



みんながつくる みんなでつくる みんな安心・福祉のまち

山鹿市社協だより

2014
秋

第37号

キャッチボール



高校生のための保育ボランティア講座より

特集 地域福祉

特集 なぜ今、地域福祉か!?	②・③
ワークキャンプ	④
育児サポーター養成講座	⑤
高校生のための保育ボランティア講座 支所だより	⑥・⑦
教育支援資金貸付のご案内	⑧
第12回 菊花展案内 自宅で出来る介護予防/成年後見Q&A	⑨
心配ごと相談予定表/一日親と子のつどい報告	⑩
はつらつ百年塾作品展/成年後見フォーラム開催 ご寄付お礼	⑪
赤い羽根共同募金/社協の晩ごはん	⑫

発行／社会福祉法人 山鹿市社会福祉協議会

〒861-0531 熊本県山鹿市中578番地 TEL:0968-43-1134 FAX:0968-36-9310

E-mail:yamaga@yamasha.or.jp URL:http://www.yamaga-shakyo.com/

この社協だより「キャッチボール」は、共同募金配分金の一部を活用させていただいています。

特集 なぜ今、地域

福祉か!?



背景

日本が敗戦を迎えた昭和20年以降、経済的困窮が国内全体を覆い、日本の社会福祉は生活保護を中心とした金銭給付による経済的支援を柱としてスタートしました。その後、日本は経済の高度成長期を迎え、都市の過密化、農村の過疎化、核家族化等の現象が進み、さらに少子高齢化が進んだことで社会福祉の目的も変化してきました。

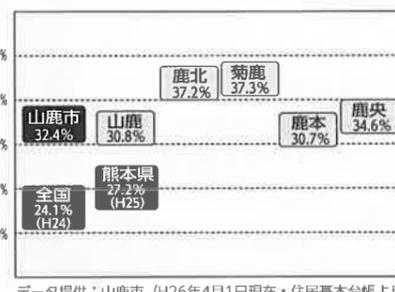
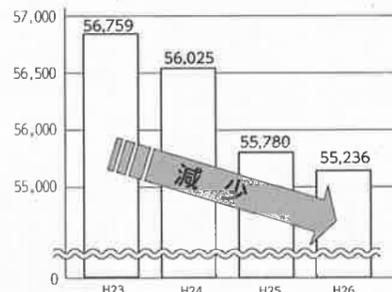
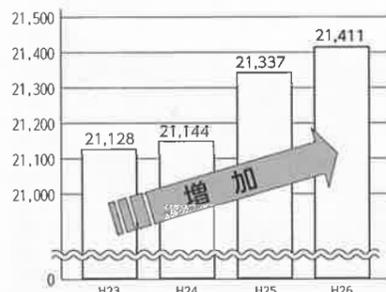
寝たきりや介助を要する人への介護サービス、保護者の就労形態の多様化などに伴う保育サービスなど、経済的支援に加え人的サービスが求められるようになり、各種の社会福祉施設がつくられるとともに在宅福祉サービスの体制整備が進められてきました。反面、家庭や地域社会では相互に支え合う力がしだいに弱くなってきました。近年、高齢者や障がい者などの生活支援を必要とする人々をはじめとして、青少年や中年層においても生活不安やストレスが増大しつつあり、自殺やホームレス、家庭内暴力、ひきこもりなど、新しい社会問題による福祉ニーズを抱えた人々が増えています。

世帯数は・・・?

進む核家族化・・・

人口は・・・?

山鹿市全体の高齢化率は・・・



データ提供：山鹿市（H26年4月1日現在・住民基本台帳より）

2 これからの地域福祉

「地域福祉」とは、地域住民、社会福祉事業を行う者、ボランティア・NPO、行政等がネットワークをつくり相互に協力しあうことで、福祉サービスを必要とする人が地域社会の一員として日常生活を営み、社会、経済、文化、その他あらゆる分野の活動に参加する機会が確保されることです。

子どもから高齢者まで、男性も女性も、障がいのある人もない人も地域で暮らしている人は誰でも社会を構成する一員として平等であり、お互いの人権を尊重しあう必要があります。すべての人が人として尊厳をもって、住み慣れた家や地域の中で安心して、その人らしい自立した生活を営むことができるように、お互いの生活上の課題を認識し支え合って「共に生きる社会づくり」を進めることが、地域福祉を推進する基本的な考え方です。

このためには、生活上の課題を持つ人だけでなく、地域住民全体が「共に生きる社会」を実現すべきであるという価値観を共有することが必要とされ、住民と行政、社協が相互に話し合い、理解しあいながら協働する「公民の協働（パートナーシップ）」の考え方を持つことが重要です。住民は地域課題の解決に向けて社会福祉に関する活動に主体的に参加していくことが期待されています。

地域住民が互いに手を結び、生活上の支援を必要とする人たちを地域全体で支え合っていく機運や仕組みづくりが必要です。



3 社会福祉協議会の役割として

社会福祉法109条に「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」として位置付けられています。

住民主体の理念に基づき、地域が抱えている様々な福祉問題を地域全体の問題としてとらえ、皆で考え、話し合い、協力して解決を図ることにより、福祉コミュニティづくりと地域福祉の推進を図ります。

山鹿市社会福祉協議会が目指す福祉のまちづくり像



4 社会福祉協議会の活動をいくつか紹介します。



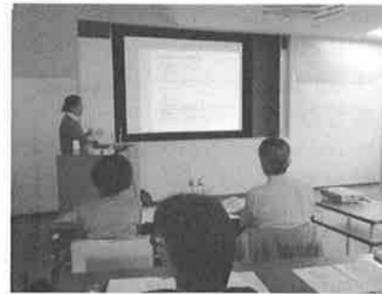
【住民座談会】
地域における福祉の現状及び情報提供を行うことにより、福祉に関する意識向上を目的に開催



【ふれあいサロン】
高齢者等の健康づくり・仲間づくり・介護予防を目的として、月1回程度、地域の公民館等で地域ボランティアの協力により開催



【小地域ネットワーク】
民生委員・児童委員や福祉協力員、地域住民の連携を基に高齢者や障がいがある方を地域で見守る活動



【成年後見センター】
障がい等の理由で判断能力が不十分な方々に対する財産管理や身上監護並びに市民後見人養成講座を実施



【ファミリーサポートセンター】
依頼会員（子どもを預けたい方）と協力会員（子どもを預かりたい方）との相互援助活動を行う会員組織

地域福祉を進めていくうえで、地域住民の皆さんの理解と参加が必要です。ご協力をよろしくお願いいたします。

育児サポーター養成講座開催

7月19日(土)に、鹿本市民センターひだまりで開催し、7人の方に参加いただきました。この講座は、子育て支援ボランティア(子育てサロンなど)と、ファミリー・サポート・センターの協力会員さんを養成することを目的に毎年開催しています。

講師には、園長先生や保健師さんをお招きし、子どもと周りの大人の関わり方の大事さや、病気やケガの対処法などを学びました。



大道保育園の園長先生による
子どもの発達についてのお話し



手あそびや絵本のおみかせ方



ファミリー・サポート・センターの依頼
会員さんと協力会員さんの体験発表

参加者の方からは、「子育ての大切さを再認識した」「子ども達と一緒に過ごす自信ができました」との声があがっていました。子育て中の方々のお力になりたいと皆さん楽しみにされています。

ファミリー・サポート・センターとは、子育て支援を行うための会員組織です。

「残業のため子どもをみることができない」「学校行事に参加したいが、小さい子どもがいるので参加しにくい」などの困りごとに、協力会員さんが子どもさんをお預かりする援助を行っています。ご利用に関してや困りごとなどがありましたら、お気軽にお電話ください。

やまがファミリー・サポート・センター 電話 44-8800

高校生のための保育ボランティア講座

7月25日(金)、8人の高校生が講座に参加されました。

保健師さんからは、お母さんのおなかの中で成長していく赤ちゃんの映像を観せていただき、お母さんのすごさと赤ちゃんの生命力を感じることができました。また、保育士さんからは身近にある新聞紙を使った遊びを学び、保育園1日体験に臨みました。

<保育園1日体験>

<講座・妊婦体験>



3kgの装具を
身につけて妊婦体験



大きいお腹では床に
落ちたものを拾うのも一苦労



はじめはドキドキ
子どもたちへの自己紹介



お姉ちゃんと一緒に



靴下をはこうね



みんなで行进

この講座を通して、次世代を担う生徒さんが今後も地域のボランティア活動で活躍してくれることを期待します。

ワークキャンプ

～夏休みの体験学習～

今年もワークキャンプ(福祉施設等での宿泊体験学習)に、中学生・高校生・大学生62人が参加しました。高齢の方や園児さんとのふれあいを通して、様々なことを体験し学ぶことができました。



私が緊張していると利用者の方から話しかけていただいたことでとても安心できました。



この体験を通して自然に笑顔が出るようになりました。

将来福祉に関係のない仕事をする事になっても、今回の体験を忘れずに活かせたらいいなあと思いました。



折り紙や塗り絵は私より上手にされることにびっくりしました。



話を聞くと利用者の方が楽しそうにされることから、聞くことの大切さが分かりました。

《協力施設》

特別養護老人ホーム
チブサン荘/愛隣の家
あやすぎ荘/矢筈荘
一本松荘

小規模多機能ホーム
かほく/音色/岩原の郷
介護老人保健施設
山鹿リハビリセンター
保育園
かおう保育園

菊鹿 地域の子どもたちと交流

雨が多かった8月ですが、8月21日(日)は晴天にめぐまれ内田校区の3区でふれあいサロン「やすらぎ会」が開催されました。

この日は夏休みということもあって、小学生の男子8人も参加しての交流会です。

子ども達は民生委員の淵上靖一さんから「竹笛」の作り方を教わり、それぞれ自分の笛を作成しました。その後、サロン参加者からアドバイスもらいながら子どもたちが焼きそばを調理。

皆でおいしく食べながら、楽しいひとときを過ごされました。



小嶋地区「ふれあい広場」～子どもの夏休みを機会に～



早起き学習道場(月曜と木曜日はラジオ体操の後、小嶋神社の拝殿の掃除で心を清め、子どもたちの自学を支援する活動)は11年目、ラジオ体操は20年以上継続し、わが村の伝統となっています。この活動に数回のふれあいランドゴルフを加えたかたちで昨年より取り組んでいるのが「ふれあい広場」です。

今年の夏は幼児から高齢者まで延べ400人を越えるふれあい活動となりました。「子どもたちに元気もらいます」「朝からラジオ体操をするので健康づくりになります」「大人の人たちと顔見知りになります」などの声も聞こえてまいります。



ラジオ体操



神社のそうじ



ランドゴルフ

鹿央 姫井地区主催 小地域ネットワーク事業

8月3日(日)、毎年行われているこのイベントに今年も約100人の方が参加されました。金魚すくいやそうめん流し、ビンゴ大会をはじめ、お年寄り子どもたちによるペタンク大会など賑やかに開催。当日は参加者全員名札をつけ「あらー〇〇ちゃんね、大きくなったねー!!」と声をかけ合っている姿も見られました。

区長の有働辰喜さんは、「区民の皆さんのおかげで、イベントを開催する事ができ、大変感謝しております。これからも区民の絆を深めることができるこの行事を続けていきたいと思ひます」と話されました。



そうめん流し



ペタンク大会



ふるさと山鹿を盛りあげよう!



山鹿中学校(大野朗久校長)は生徒会執行部が指揮をとり、6年ほど前から灯籠後の8月17日に清掃活動をされています。

今回も、運動部を中心に500人ほどの生徒さんで朝7時から1時間程度ゴミ拾いを実施。清掃場所や人数の振り分けも生徒会執行部が行い、まつりのルートになっている所などは人数を増やすなどの工夫をしているそうです。清掃活動を行った生徒さんに尋ねると、「まちをきれいにしてお客さんにもっと山鹿に来てほしい」という言葉が返ってきました。



15袋(45kg)のゴミを回収

今年花火大会後の8月16日のボランティアも、甲子園に出場を決めた城北高校の代打で担当。また、灯籠踊りには女子生徒有志が参加し、まつりを盛りあげました。美しくなった山鹿は、たくさんのお客さんに訪れていただけることと思います。今後も、山鹿を支える若い力に期待します。



生徒会執行部



山鹿中学校の灯籠娘

鹿北 夏の思い出

～下中地区～



8月24日(日)下中地区で毎年恒例の夏祭りが開催されました。あいにくの雨で、会場は野外から公民館へ変更されましたが、地元住民やこの日の為に帰省した地元出身者、近隣住民など約100人の参加がありました。

駄菓子つかみ取りでは、「ほら、いっぱい取れたよ!」と子ども達の笑顔があふれました。「さあ、さあ、買った!」、「もっと安くして!」と大きな声が飛び交ったバナナのたたき売り、婦人会によるスコップ三味線、大抽選会などプログラムが目白押し。会場では、終始大きな声援や笑い声が飛び交っていました。

区長の野中武紀さんは、「今年も大好評で、特に子どもとお年寄りの交流ができ、また住民の連帯意識も益々深まったように思います。これからもこの伝統行事を続けていきたい」と話されました。

食べることを大切にしましょう

○栄養改善のポイント

- ・「食べることを大切にすることが身体機能・生活機能向上の基本です。
- ・高齢者は、たんぱく質やエネルギーの不足（低栄養状態）による身体機能の低下が心配です。体重測定などで自分の状態をチェックしましょう。



○毎日の生活に取り入れよう

低栄養状態を防ぐ食生活のヒント

1. 主食と主菜を毎食しっかり食べましょう

ごはん・パン・麺などの主食はエネルギーの、また魚・肉・卵・大豆製品などの主菜（おかず）はたんぱく質の重要な補給源です。

2. 定期的に体重を測りましょう

3. 食欲がないときは好きなものをまず食べましょう

高齢者は気づかないうちに食が細くなりがちです。食欲がないときには好きなものをまず食べることで楽しさや満足感が得られ、食欲もわいてきます。



4. 買い物や食事の準備の負担を減らすことも考えましょう

食事の準備が負担に感じる場合は、配達サービスや惣菜の利用なども考えましょう。

5. 脱水を予防するために、水分を十分にとりましょう

6. 口腔状態や運動・身体活動、休養（睡眠）の生活リズムを整えることも大切です

7. 「食べることを楽しむことで、いきいきとした生活と自己実現を目指しましょう



お問い合わせ先 山鹿市地域包括センター 電話 43-1077

Q&A

やまが成年後見センター



成年後見制度について、シリーズで連載しています。今回は、家庭裁判所から正式に成年後見人に選任された方が、就任直後にすべきことをテーマにして説明します。

成年後見人の就任直後にすべきこと

財産管理に先立ち、管理する財産としてどのようなものがあるか特定しなければなりません。ここで、大事なことは、本人の財産と成年後見人の財産を混合しないようにすることです。生活を別に行っている場合は区別しやすいですが、同居している場合は区別が難しい場合もあります。困った時は、裁判所へ相談を行うようにしてください。

関係機関へ成年後見人の届出をする

金融機関や証券会社、市町村などの関係機関に対して「後見届」を行います。「後見届」とは、成年後見人等になったことを届け出ることです。年金等の支給は、多くの方が振込みで行われる関係上、預金口座を持っていない方は、ほとんどいないと思われます。必ず「後見届」が必要となるでしょう。

Q 金融機関へ「後見届」をするとき、どのような手順で行えばよいのでしょうか

A 被後見人名義の預貯金口座のある金融機関（取次店）へ「後見届」を行います。また最寄りの金融機関にも預貯金口座があるかも知れませんが「後見届」を行い、その後調査が必要となるでしょう。

不明な点がございましたら、下記までご連絡下さい。
お問い合わせ やまが成年後見センター 電話 36-9211

～高校・大学・専門学校等への就学のために～

教育支援資金(教育支援費・就学支度費)

この貸付制度は、各都道府県社会福祉協議会が実施主体となり、市区町村社会福祉協議会を窓口として運営しており、低所得世帯の方が、高校や大学、専門学校に就学される場合に必要経費を貸し付ける制度です。

資金の種類	貸付限度額	据置期間	償還期間	貸付利率
教育支援費 *高校・大学等に就学するのに必要な経費	高等学校……月額3.5万円以内 高等専門学校……月額6万円以内 短期大学(専修学校専門課程を含む)……月額6万円以内 大学……月額6.5万円以内	卒業後3カ月以内	据置期間経過後20年以内	無 利 子
就学支度費 *高校・大学等への入学に際し、必要な経費	50万円以内			

※資金の交付までに、1カ月から2カ月程度かかります。

貸付にあたって

1. 連帯借受人が必要です

教育支援資金を借り入れる場合は、生計中心者が連帯借受人として、加わることが必要です。原則として、連帯保証人は不要です。



2. 他の貸付制度の利用が優先です

日本学生支援機構奨学金、熊本県育英資金、母子寡婦福祉資金等、他の貸付制度が優先です。

まずは、お早めに社会福祉協議会までご相談下さい



展示期間…11月1日(土)から5日(水)まで
展示場所…水辺プラザかもとアトリウム内

今年も高齢者の生きがいと健康づくり事業の中で、山鹿市の高齢者が丹精込めて育てた菊を水辺プラザかもとアトリウムにおいて展示いたします。皆様のご来場をお待ちしております。

第12回 菊花展の開催について

じぶんの町を良くするしくみ。 赤い羽根共同募金



今年も10月1日から12月31日まで、赤い羽根共同募金運動が全国的に展開されます。

山鹿市でも戸別募金・職域募金・法人募金・学校募金・街頭募金等の活動を実施します。

この運動により集められた募金は、約7割が山鹿市のために活用されます。残りの約3割は市町村の枠を超えた広域的な課題を解決するための県内の活動に使われます。

じぶんの町を良くするいろいろな活動がもっともっと元気になるように、皆様のご協力をよろしくお願ひします。

共同募金の種類

- ★戸別募金……各家庭に募金をお願いをしています
- ★職域募金……会社などで働いている人達に募金をお願いしています
- ★法人募金……会社などに募金をお願いしています
- ★学校募金……学校での福祉教育の一環として募金活動をお願いしています
- ★街頭募金……ショッピングセンターやイベント会場などで募金を呼びかけています
- ★イベント募金……イベントを企画し、募金を呼びかけています

山鹿市への配分金は このように活用されます

- 福祉人材の育成のために
子どもボランティアリーダー養成講座
ワークキャンプ
- 地域福祉の推進のために
ひとり親家庭一日親と子のつどい
心配ごと相談
- 社協だより「キャッチボール」の発行
- 各福祉団体の活動助成
- 小規模地域活動助成
- 地域福祉権利擁護事業利用者負担助成

熊本県共同募金会山鹿市支会 (山鹿市社会福祉協議会内) ☎43-1134

社協の晩ごはん

肉じゃがコロッセ

社会福祉協議会では、自分で調理することが困難な高齢者のために月曜日から土曜日まで、夕食のお弁当配達を行っています。その中のメニューから、今回は「肉じゃがコロッセ」のレシピを紹介します。

【作り方】

- ①じゃが芋は皮をむいて大きめの一口大に切り、水にくぐらせる。タマネギは1cm幅のくし形に切る。人参はみじん切りにする。
- ②人参とグリーンピースは茹でておく。
- ③鍋を火にかけて油をなじませ、牛挽き肉を入れ炒める。肉の色が変わったら、じゃが芋とタマネギを加えてひと混ぜし、調味料をあわせ注ぐ。煮立ったら中火にしてアクを除き、じゃが芋が柔らかくなり、煮汁がほとんどなくなるまで煮詰め、つぶす。
- ④粗熱が取れたら人参とグリーンピースを入れ、丸く成形する。
小麦粉→溶き卵→パン粉の順に付けて、180℃の油でからっと揚げれば出来上がり。



<材料> 4人分

- 牛挽き肉…100g ●タマネギ…1/2個
- 人参…1/4本 ●じゃが芋…大5個(500g)
- グリーンピース…適量 ●小麦粉…適量
- パン粉…適量 ●溶き卵…適量 ●揚げ油…適量
- 付け合せの野菜…レタス/サニーレタス/トマトなど
- <調味料>
- だし汁…400cc ●砂糖…大4 ●料理酒…大4
- みりん…大4 ●濃口醤油…大2 ●薄口醤油…大2

お問い合わせ先…お弁当希望の方は 山鹿市役所 長寿支援課 ☎43-1077

- 本所・山鹿支所 ☎43-1134
- 鹿北支所 ☎32-2696
- 鹿本支所 ☎46-2206
- やまが成年後見センター ☎36-9211
- 菊鹿支所 ☎48-5060
- 鹿央支所 ☎36-3811